



最上エコポリスの実現
= 豊かな自然 輝くもがみ =

小国川だより

最上小国川治水対策について、分かりやすく正確にお知らせします。

小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第13号

平成21年9月24日発行

山形県 最上総合支庁
建設部 河川砂防課

最上小国川流域の環境を守る活動をされている地域の方々をご紹介します



「向町八区会」活動状況

県内各地に、河川のゴミ拾いや草刈り、花植えなどの活動されている団体がありますが、最上小国川流域で活動されているの方々をご紹介します。

今回は、最上町向町地区の「向町八区会」の活動をご紹介します。

会では、向町の東側を流れる絹出川の河川環境を守る活動をしています。

代表の山口宏さんに詳しい活動内容について話をお聞きしました。

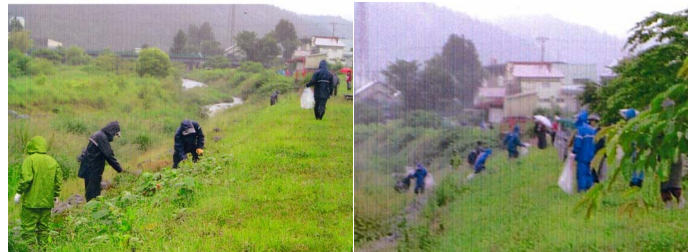


河川アダプト団体「向町八区会」

平成10年に、向町八区会ができました。新しくできた地区だったため、いろんな車がよく出入りして、ゴミなどを捨てられたこともありました。

町内や周辺に雑草が生えていると、ゴミも捨てられやすいので、草刈りが必要だという意見が出されました。これらの意見が、草刈りや花植え、桜の植樹など、町内の美化活動につながっていきました。平成14年には河川アダプト団体として認定を受けて、活動しています。

草刈り、花植え、桜の管理などが主な活動内容ですが、年に8回ほど実施し、1回当たり40名程度参加しています。4月にゴミ拾い、5月は花植え、その後は草刈りと木や花の管理などを行っています。



絹出川は、昔は深みもあって子供が遊ぶのにとてもよい川でした。最近はきれいな場所がなくなり、寂しい気がします。多くの子供たちに釣りや魚突きなどをして、もっと川で遊んでもらいたいと思っています。

夕涼みをしながら川を眺められるように、地区の公園を憩いの場所にできたらと思っています。昔はホタルがいっぱいたんですが、今はいなくなりました。また、ホタルが飛び交うようになるといいですね。



【河川アダプト団体とは】

地域(町内会など)・学校・企業などを単位とする任意団体です。県が管理する河川・海岸・砂防区域を対象に、住民と行政がパートナーとして共に河川・海岸管理を行います。

認定団体は、活動に対して助成金の交付が受けられるほか、団体名称が入った看板の設置などの支援を受けることができます。また、最上総合支庁では、刈払機の無料貸出を行っています。

今年おこなっている環境調査で、どんなことが分かったのか

猛禽類調査

クマタカについては、第3回環境保全協議会で、もし繁殖していた場合には8月に営巣地の林内踏査を追加したほうが良いとの助言を専門家よりいただいております。6、7月に調査を行い、その行動や状況について、専門家に確認していただいたところ、今年は繁殖を行っていないと判断されました。

藻類調査

藻類は、最上小国川とその支川の計5箇所です。7月から10月まで毎月1回調査しています。川の中で藻のついた石から、一定の面積の藻類を採取し、種類ごとにその重さを量ります。

確認された主な藻類は、藍藻類、珪藻類、緑藻類でした。その中でもっとも多かったのは、アユが好んで食べるといわれている藍藻類でした。



藻類調査状況

平成21年8月 最上小国川にて撮影



【はみあと】石に生えた藻をアユが食べたあと



底生動物調査状況

平成21年6月 最上小国川にて撮影



モノアラガイ

底生動物調査

底生動物の調査は、最上小国川とその支川の計6箇所です。6月に実施しました。調査の結果、カゲロウ、トビケラやトンボの幼虫などの底生動物が地点ごとに約40～80種確認されました。

底生動物(ていせいどうぶつ)とは湖底などの水底や泥中で生活する水生生物です。主にカゲロウやトビケラなどの水生昆虫類、エビ・カニなどの甲殻類、モノアラガイやカワナナといった貝類などが挙げられます。

水質シミュレーション

ダム上流には、洪水時には、一時的に水が貯まりますが、この時、下流の水質はどのように変化するかを解析します。

この結果を基に、専門家のご意見をいただきながら、検討していきます。

最上小国川ダムでは、専門家のご意見を基に、最大限、環境に配慮した方策を進めてまいります

県議会の建設常任委員会の方々から現地を視察していただきました

7月31日(金)の午後1時半から、山形県議会の建設常任委員会の委員の皆様から現地を視察していただきました。

はじめに、赤倉地区の最上小国川で、河床から温泉が湧いていることを確認いただき、その後ダム予定地をご覧いただきました。視察中の主な質問は次のとおりでした。

問】洪水時に流木や土砂などでダムの穴が詰まることがないのか。

答】穴の大きさから、土砂による閉塞の心配はありませんが、流木などについては上流側にスクリーンの設置を検討しています。



ダム予定地



赤倉温泉地内

問】赤倉地区の河川は掘削するとどうなるのか。

答】旅館の温泉に、著しい影響が出る恐れがあります。現在の地形で、温泉の安定性を保っています。

発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課
最上小国川ダム建設室 佐藤・高橋
〒996-0002

山形県新庄市金沢字大道上 2034

お問合せ先 電話 0233-29-1407

Email - 【前画面を参考にして下さい。】

バックナンバーは県HPからダウンロードできます。URLは下記のとおりです。

http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/news/news/7314074ogunigawa_news.html